スカラネット入力下書き用紙記入例

日本学生支援機構奨学金の出願書類の１つである「スカラネット入力下書き用紙」の記入例です。記入例を確認し、下書き用紙を作成してください。
なお、下書きができた方は、コピーを取り、出願時には、「スカラネット入力下書き用紙」原本とコピー両方持参してください。

■貸与と給付を同時に出願される方は、「スカラネット入力下書き用紙（青色）【給付奨学金（貸与同時申し込み）用】」を使用してください。

■給付奨学金のみを出願する場合、「スカラネット入力下書き用紙（貸与同時申込み）用」の青色背景の設問のみ記入してください。貸与奨学金に関する設問は記入不要です。

■スカラネット入力下書き用紙 ②-奨学金申込情報
「貸与奨学金案内（ピンク色）」P.31 の解説をよく読み、１つ選択してください。
１年次生で、採用候補者であり、在学採用で別の種別の奨学金を申込む場合は、申込番号に注意してください。

変更	第二種の採用候補者だが、第一種に変更したい場合 ※第二種の「進学届」は必ず入力をしてください。第一種が採用となった場合、第二種は採用取消とします。	（1）を選択
追加	第一種の採用候補者だが、今回第二種も併せて貸与を希望する場合 ※申込情報の（13）を希望される方は、出願時にその旨を申出てください。 ※第一種の「進学届」は必ず入力してください。	（10）を選択
	第二種の採用候補者だが、今回第一種も併せて貸与を希望する場合 ※申込情報の（14）を希望される方は、出願時にその旨を申出てください。 ※第二種の「進学届」は必ず入力してください。	（11）を選択

■スカラネット入力下書き用紙 ⑨-（2）-（e）,(3)-(e) マイナンバーの提出
別途配付している「マイナンバー提出書」のセットにも記載がありますが、マイナンバーカードをお持ちでない方は「通知カード」等の提出になります。「通知カード」等の提出ができる方は、「準備できている」を選択してください。

給付奨学金のみを出願する場合→青色背景のみ記入してください
給付奨学金と貸与奨学金を同時に出願する場合→青色・灰色背景の両方記入してください。

スカラネット入力下書き用紙
【給付奨学金（貸与同時申込み）用】

独立行政法人
日本学生支援機構
JASSO Japan Student Services Organization

給付奨学金と貸与奨学金の両方、又は給付奨学金のみを申し込む際の「スカラネット入力下書き用紙」です。この下書き用紙には給付奨学金及び貸与奨学金それぞれに関する設問があり、希望する奨学金の種類によって回答の必要な設問が異なります。給付奨学金のみを申し込む人は、青色背景の設問のみに答えてください。給付奨学金と貸与奨学金の両方を申し込む人は、青色背景と灰色背景の両方の設問に答えてください。

スカラネットURL　https://www.sas.jasso.go.jp/
受付時間　8：00～25：00（最終締切日は8：00～24：00）
※受付時間を過ぎると画面が強制終了します。余裕をもって入力を開始してください。
入力所要時間の目安は30分～1時間です。

氏　名	学籍番号	学部・学科・分野

入力の際に必要な項目です。
学校の担当者に必ず正しい名称を確認してください。

受付番号
－　　－

記入不要

【スカラネット入力の際に、手元に用意する書類】
・学校から受け取った識別番号（ユーザIDとパスワード）
・マイナンバー提出書
・奨学金振込口座（本人名義）の通帳などのコピー（本冊子16ページに貼り付けてください。）

【スカラネット入力内容記入欄】

識別番号入力
あなたの識別番号（学校から交付されたユーザIDとパスワード）を入力してください。
（注）パスワード入力の際は全角・半角、大文字・小文字の区別をします。
ユーザID　　パスワード

記入不要
書類提出後、大学からID･パスワードをお渡しします。

奨学金学種（学校）・申込の選択
あなたはどの課程で奨学金を受けたいですか。
課程を選択してください。

大学の場合の表示例
申込む奨学金を選択後、「次へ」ボタンを押してください。
(1) 定期採用（1次又は2次）給付奨学金・貸与奨学金
● 現在在学している大学での奨学金を申込むことができます。
(2) 家計急変採用（給付奨学金のみ）
○ 生計維持者に特定の事由が生じたことで家計急変し、急変後の収入状況が住民税情報に反映される前に支援を要する場合のみ申し込むことができます。
学校で申込資格を確認してください。

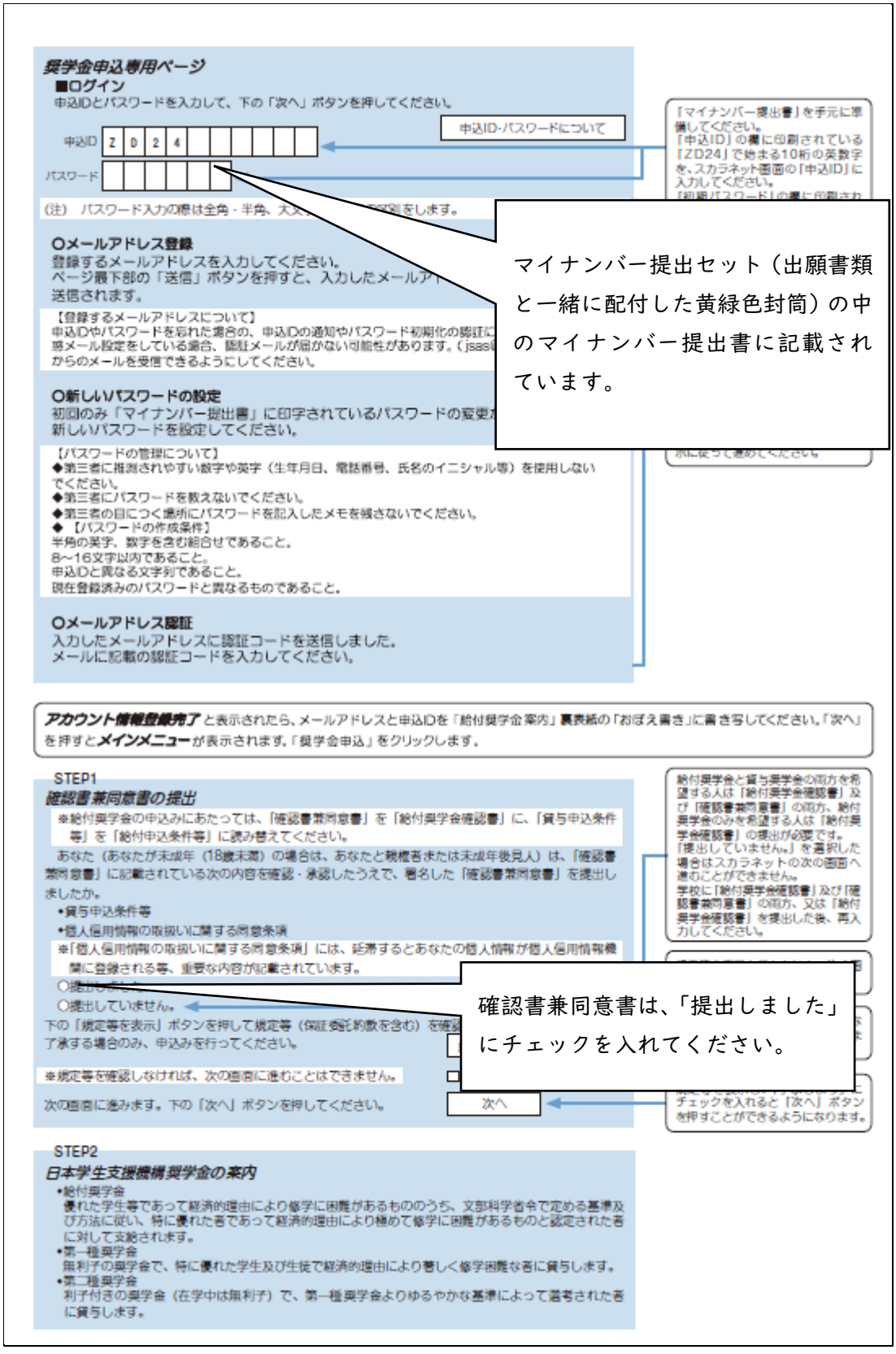
注意！「定期採用」を選んでいることを再度確認してください。誤って他の選択肢を選ぶと、選考の対象にならず、申込をやり直す必要が生じます。

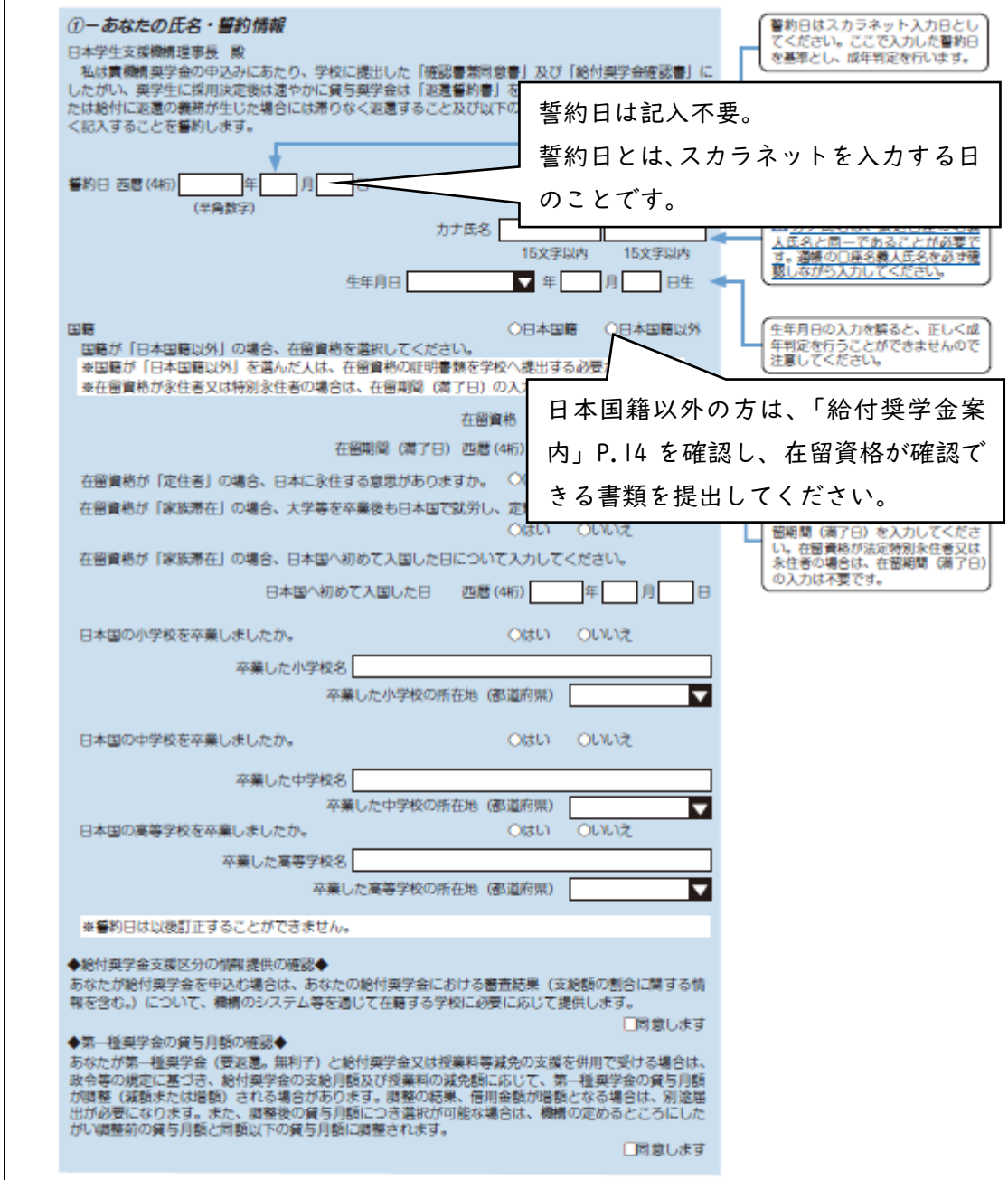
高等専門学校の場合の表示例
申込む奨学金を選択後、「次へ」ボタンを押してください。
(1) 定期採用（1次又は2次）給付奨学金・貸与奨学金
● 現在在学している高等専門学校での奨学金を申込むことができます。
(2) 家計急変採用（給付奨学金のみ）
○ 生計維持者に特定の事由が生じたことで家計急変し、急変後の収入状況が住民税情報に反映される前に支援を要する場合のみ申し込むことができます。
学校で申込資格を確認してください。

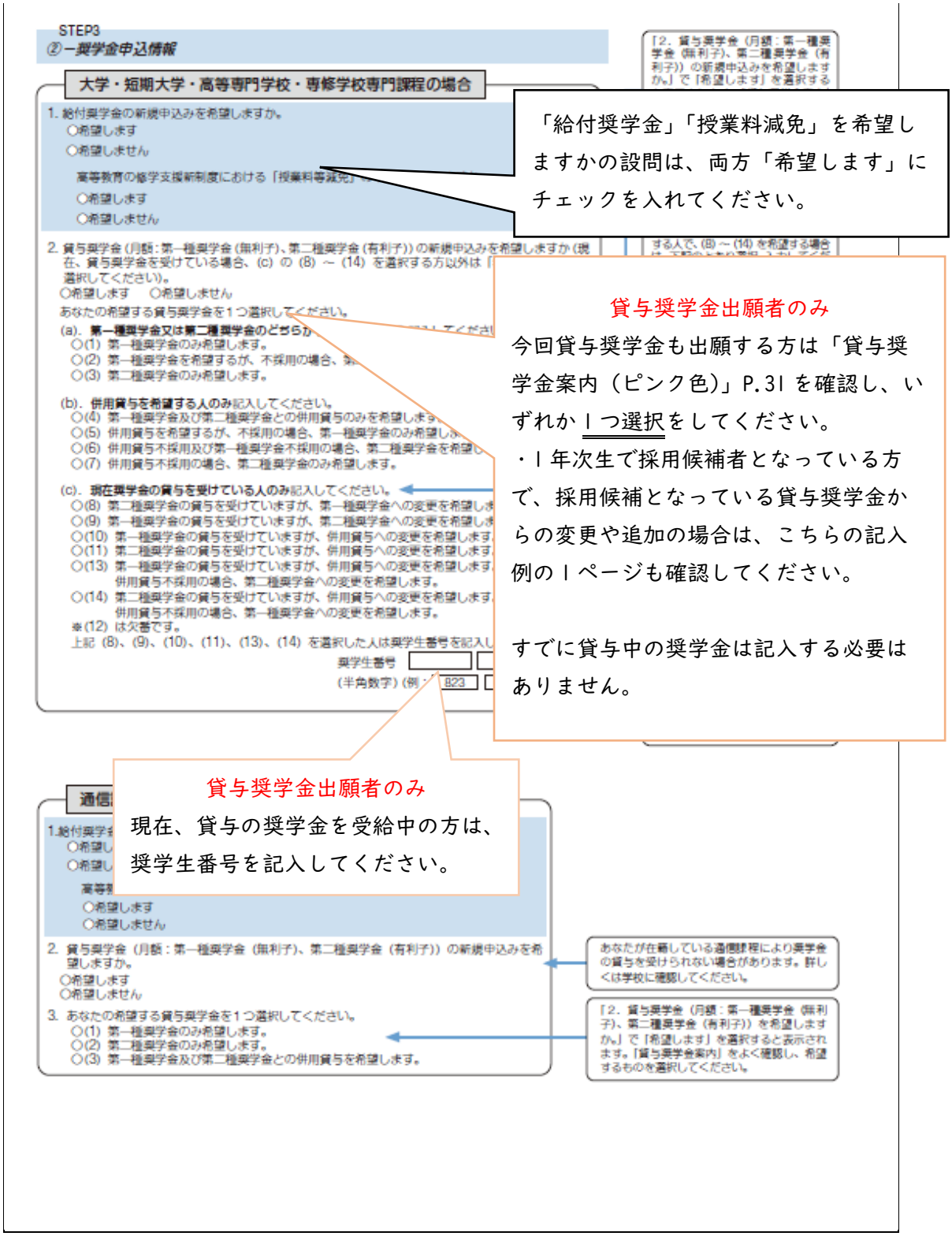
注意！「定期採用」を選んでいることを再度確認してください。誤って他の選択肢を選ぶと、選考の対象にならず、申込をやり直す必要が生じます。

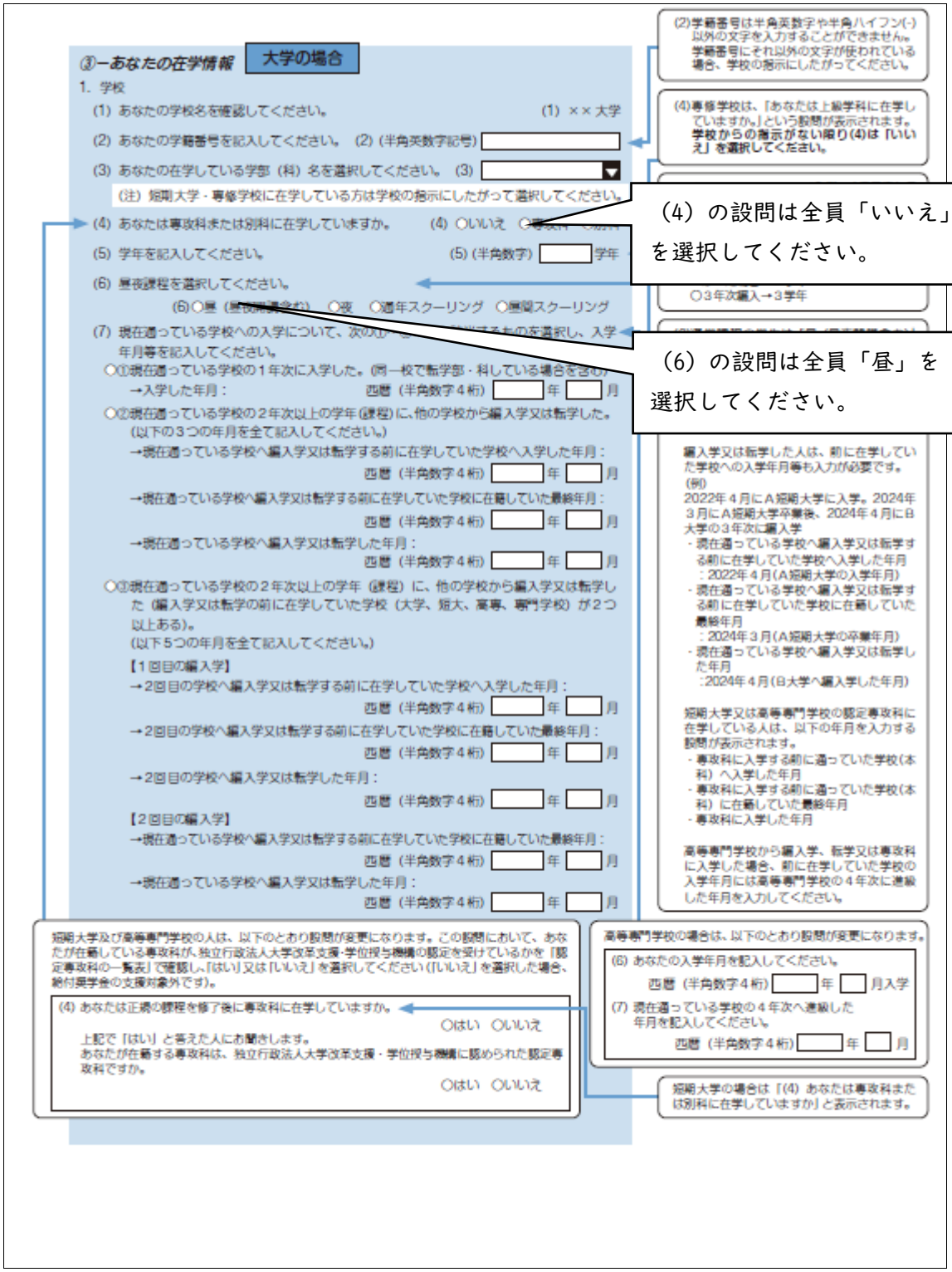
大学（通信課程）の場合の表示例
申込む奨学金を選択後、「次へ」ボタンを押してください。
(1) 定期採用（夏季スクーリング又は冬季スクーリング）
● 現在在学している大学での奨学金を申込むことができます。
(2) 家計急変採用（給付奨学金のみ）
○ 生計維持者に特定の事由が生じたことで家計急変し、急変後の収入状況が住民税情報に反映される前に支援を要する場合のみ申し込むことができます。
学校で申込資格を確認してください。

注意！「定期採用」を選んでいることを再度確認してください。誤って他の選択肢を選ぶと、選考の対象にならず、申込をやり直す必要が生じます。


奨学金申込専用ページ
■ログイン
申込IDとパスワードを入力して、下の「次へ」ボタンを押してください。
申込ID・パスワードについて
申込ID
パスワード
「マイナンバー提出書」を手元に準備してください。
「申込ID」の欄に印刷されている「ZD24」で始まる10桁の英数字を、スカラネット画面の「申込ID」に入力してください。
マイナンバー提出セット（出願書類と一緒に配付した黄緑色封筒）の中のマイナンバー提出書に記載されています。
○メールアドレス登録
登録するメールアドレスを入力してください。
【登録するメールアドレスについて】
○新しいパスワードの設定
【パスワードの管理について】
◆第三者に推測されやすい数字や英字（生年月日、電話番号、氏名のイニシャル等）を使用しないでください。
◆第三者にパスワードを教えないでください。
◆第三者の目につく場所にパスワードを記入したメモを残さないでください。
◆【パスワードの作成条件】
半角の英字、数字を含む組合せであること。
8～16文字以内であること。
申込IDと異なる文字列であること。
現在登録済みのパスワードと異なるものであること。
○メールアドレス認証
入力したメールアドレスに認証コードを送信しました。
メールに記載の認証コードを入力してください。
アカウント情報登録完了と表示されたら、メールアドレスと申込IDを「給付奨学金案内」裏表紙の「おぼえ書き」に書き写してください。「次へ」を押すとメインメニューが表示されます。「奨学金申込」をクリックします。
STEP1
確認書兼同意書の提出
※給付奨学金の申込みにあたっては、「確認書兼同意書」を「給付奨学金確認書」に、「貸与申込条件等」を「給付申込条件等」に読み替えてください。
あなた（あなたが未成年（18歳未満）の場合は、あなたと親権者または未成年後見人）は、「確認書兼同意書」に記載されている次の内容を確認・承認したうえで、署名した「確認書兼同意書」を提出しましたか。
•貸与申込条件等
•個人信用情報の取扱いに関する同意条項
※「個人信用情報の取扱いに関する同意条項」には、延滞するとあなたの個人情報が個人信用情報機関に登録される等、重要な内容が記載されています。
○提出しました。
○提出していません。
確認書兼同意書は、「提出しました」にチェックを入れてください。
給付奨学金と貸与奨学金の両方を希望する人は「給付奨学金確認書」及び「確認書兼同意書」の両方、給付奨学金のみを希望する人は「給付奨学金確認書」の提出が必要です。
「提出していません。」を選択した場合はスカラネットの次の画面へ進むことができません。
学校に「給付奨学金確認書」及び「確認書兼同意書」の両方、又は「給付奨学金確認書」を提出した後、再入力してください。
下の「規定等を表示」ボタンを押して規定等（保証委託約款を含む）を確認
了承する場合のみ、申込みを行ってください。
※規定等を確認しなければ、次の画面に進むことはできません。
次の画面に進みます。下の「次へ」ボタンを押してください。
次へ
チェックを入れると「次へ」ボタンを押すことができるようになります。
STEP2
日本学生支援機構奨学金の案内
•給付奨学金
優れた学生等であって経済的理由により修学に困難があるもののうち、文部科学省令で定める基準及び方法に従い、特に優れた者であって経済的理由により極めて修学に困難があるものと認定された者に対して支給されます。
•第一種奨学金
無利子の奨学金で、特に優れた学生及び生徒で経済的理由により著しく修学困難な者に貸与します。
•第二種奨学金
利子付きの奨学金（在学中は無利子）で、第一種奨学金よりゆるやかな基準によって選考された者に貸与します。


⑦ーあなたの氏名・誓約情報
誓約日はスカラネット入力日としてください。ここで入力した誓約日を基準とし、成年判定を行います。
誓約日は記入不要。
誓約日とは、スカラネットを入力する日のことです。
誓約日 西暦(4桁) 年 月 日
(半角数字)
カナ氏名
15文字以内
15文字以内
生年月日 年 月 日生
生年月日の入力を誤ると、正しく成年判定を行うことができませんので注意してください。
国籍 ○日本国籍 ○日本国籍以外
日本国籍以外の方は、「給付奨学金案内」P.14 を確認し、在留資格が確認できる書類を提出してください。
在留資格
在留期間（満了日） 西暦(4桁)
在留資格が「定住者」の場合、日本に永住する意思がありますか。
在留資格が「家族滞在」の場合、大学等を卒業後も日本国で就労し、定
○はい ○いいえ
在留資格が「家族滞在」の場合、日本国へ初めて入国した日について入力してください。
日本国へ初めて入国した日 西暦(4桁) 年 月 日
日本国の小学校を卒業しましたか。 ○はい ○いいえ
卒業した小学校名
卒業した小学校の所在地（都道府県）
日本国の中学校を卒業しましたか。 ○はい ○いいえ
卒業した中学校名
卒業した中学校の所在地（都道府県）
日本国の高等学校を卒業しましたか。 ○はい ○いいえ
卒業した高等学校名
卒業した高等学校の所在地（都道府県）
※誓約日は以後訂正することができません。
◆給付奨学金支援区分の情報提供の確認◆
あなたが給付奨学金を申込む場合は、あなたの給付奨学金における審査結果（支給額の割合に関する情報を含む。）について、機構のシステム等を通じて在籍する学校に必要に応じて提供します。
□同意します
◆第一種奨学金の貸与月額の確認◆
あなたが第一種奨学金（要返還。無利子）と給付奨学金又は授業料等減免の支援を併用で受ける場合は、政令等の規定に基づき、給付奨学金の支給月額及び授業料の減免額に応じて、第一種奨学金の貸与月額が調整（減額または増額）される場合があります。調整の結果、借用金額が増額となる場合は、別途届出が必要になります。また、調整後の貸与月額につき選択が可能な場合は、機構の定めるところにしたがい調整前の貸与月額と同額以下の貸与月額に調整されます。
□同意します


STEP3
②ー奨学金申込情報
大学・短期大学・高等専門学校・専修学校専門課程の場合
1. 給付奨学金の新規申込みを希望しますか。
○希望します
○希望しません
高等教育の修学支援新制度における「授業料等減免」
○希望します
○希望しません
2. 貸与奨学金（月額：第一種奨学金（無利子）、第二種奨学金（有利子））の新規申込みを希望しますか（現在、貸与奨学金を受けている場合、(c) の (8) ～ (14) を選択する方以外は「
選択してください）。
○希望します　○希望しません
あなたの希望する貸与奨学金を1つ選択してください。
(a). 第一種奨学金又は第二種奨学金のどちらか
○(1) 第一種奨学金のみ希望します。
○(2) 第一種奨学金を希望するが、不採用の場合、第
○(3) 第二種奨学金のみ希望します。
(b). 併用貸与を希望する人のみ記入してください。
○(4) 第一種奨学金及び第二種奨学金との併用貸与のみを希望します
○(5) 併用貸与を希望するが、不採用の場合、第一種奨学金のみ希望し
○(6) 併用貸与不採用及び第一種奨学金不採用の場合、第二種奨学金を希望し
○(7) 併用貸与不採用の場合、第二種奨学金のみ希望します。
(c). 現在奨学金の貸与を受けている人のみ記入してください。
○(8) 第二種奨学金の貸与を受けていますが、第一種奨学金への変更を希望し
○(9) 第一種奨学金の貸与を受けていますが、第二種奨学金への変更を希望し
○(10) 第一種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。
○(11) 第二種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。
○(13) 第一種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。
併用貸与不採用の場合、第二種奨学金への変更を希望します。
○(14) 第二種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。
併用貸与不採用の場合、第一種奨学金への変更を希望します。
※(12) は欠番です。
上記 (8)、(9)、(10)、(11)、(13)、(14) を選択した人は奨学生番号を記入し
奨学生番号
（半角数字）（例：823
「2. 貸与奨学金（月額：第一種奨学金（無利子）、第二種奨学金（有利子））の新規申込みを希望しますか。」で「希望します」を選択する
する人で、(8) ～ (14) を希望する場合
「給付奨学金」「授業料減免」を希望しますかの設問は、両方「希望します」にチェックを入れてください。
貸与奨学金出願者のみ
今回貸与奨学金も出願する方は「貸与奨学金案内（ピンク色）」P.31 を確認し、いずれか１つ選択をしてください。
・１年次生で採用候補者となっている方で、採用候補となっている貸与奨学金からの変更や追加の場合は、こちらの記入例の１ページも確認してください。
すでに貸与中の奨学金は記入する必要はありません。
貸与奨学金出願者のみ
現在、貸与の奨学金を受給中の方は、奨学生番号を記入してください。
通信
1.給付奨学
○希望し
○希望し
高等
○希望します
○希望しません
2. 貸与奨学金（月額：第一種奨学金（無利子）、第二種奨学金（有利子））の新規申込みを希望しますか。
○希望します
○希望しません
3. あなたの希望する貸与奨学金を1つ選択してください。
○(1) 第一種奨学金のみ希望します。
○(2) 第二種奨学金のみ希望します。
○(3) 第一種奨学金及び第二種奨学金との併用貸与を希望します。
あなたが在籍している通信課程により奨学金の貸与を受けられない場合があります。詳しくは学校に確認してください。
「2. 貸与奨学金（月額：第一種奨学金（無利子）、第二種奨学金（有利子））を希望しますか。」で「希望します」を選択すると表示されます。「貸与奨学金案内」をよく確認し、希望するものを選択してください。

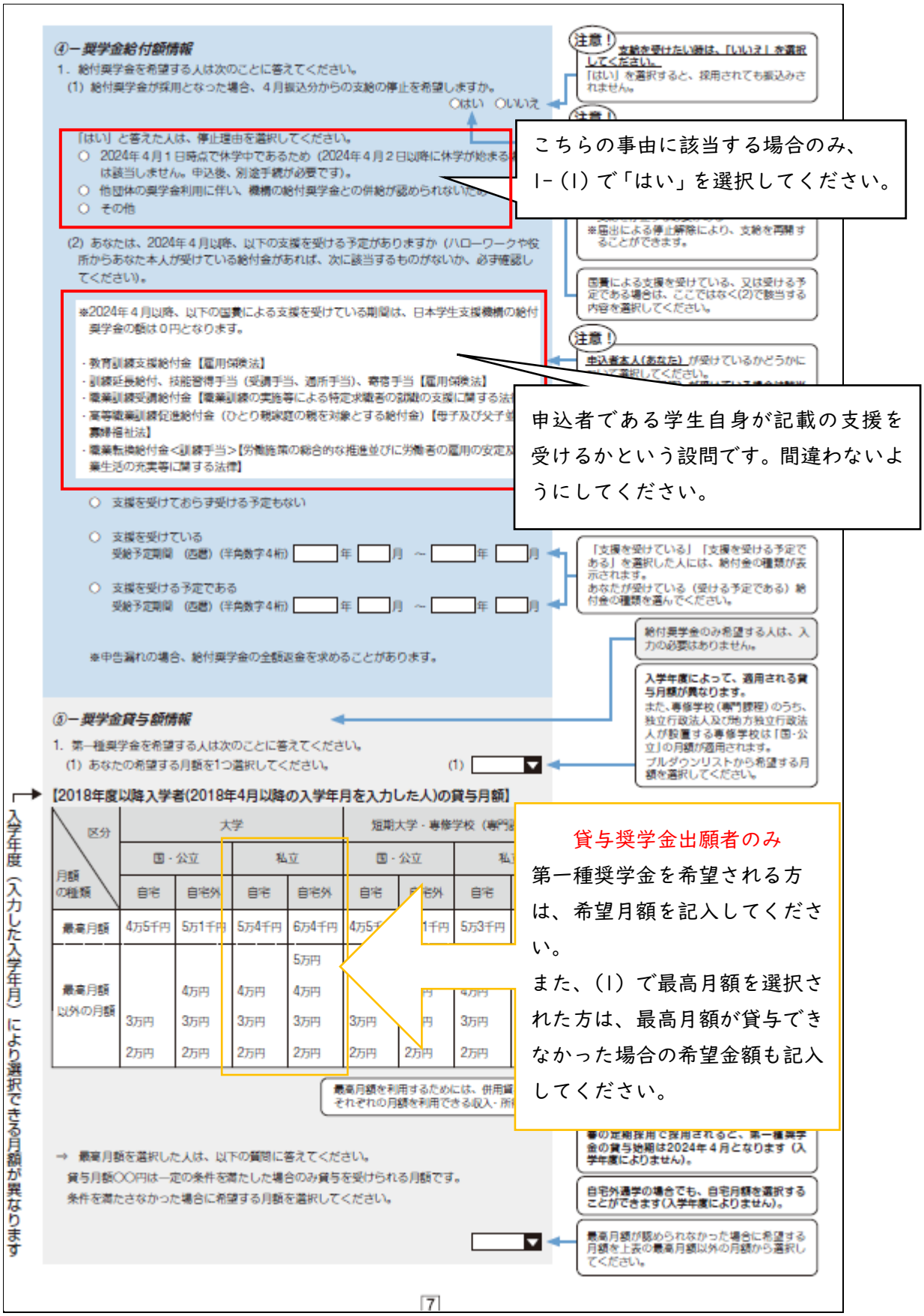

③ーあなたの在学情報
大学の場合
1. 学校
(1) あなたの学校名を確認してください。 (1) ××大学
(2) あなたの学籍番号を記入してください。 (2) (半角英数字記号)
(3) あなたの在学している学部（科）名を選択してください。 (3)
(注) 短期大学・専修学校に在学している方は学校の指示にしたがって選択してください。
(4) あなたは専攻科または別科に在学していますか。 (4) ○いいえ
(5) 学年を記入してください。 (5) (半角数字) 学年
(6) 昼夜課程を選択してください。
(6) ○昼 ○夜 ○通年スクーリング ○集中スクーリング
(7) 現在通っている学校への入学について、次の
年月等を記入してください。
○①現在通っている学校の１年次に入学した。(同一校で転学部・科している場合を含む)
→入学した年月： 西暦（半角数字４桁） 年 月
○②現在通っている学校の２年次以上の学年（課程）に、他の学校から編入学又は転学した。
(以下の３つの年月を全て記入してください。)
→現在通っている学校へ編入学又は転学する前に在学していた学校へ入学した年月：
西暦（半角数字４桁） 年 月
→現在通っている学校へ編入学又は転学する前に在学していた学校に在籍していた最終年月：
西暦（半角数字４桁） 年 月
→現在通っている学校へ編入学又は転学した年月：
西暦（半角数字４桁） 年 月
○③現在通っている学校の２年次以上の学年（課程）に、他の学校から編入学又は転学した（編入学又は転学の前に在学していた学校（大学、短大、高専、専門学校）が２つ以上ある）。
(以下５つの年月を全て記入してください。)
【１回目の編入学】
→２回目の学校へ編入学又は転学する前に在学していた学校へ入学した年月：
西暦（半角数字４桁） 年 月
→２回目の学校へ編入学又は転学する前に在学していた学校に在籍していた最終年月：
西暦（半角数字４桁） 年 月
→２回目の学校へ編入学又は転学した年月：
西暦（半角数字４桁） 年 月
【２回目の編入学】
→現在通っている学校へ編入学又は転学する前に在学していた学校に在籍していた最終年月：
西暦（半角数字４桁） 年 月
→現在通っている学校へ編入学又は転学した年月：
西暦（半角数字４桁） 年 月
(2)学籍番号は半角英数字や半角ハイフン(-)以外の文字を入力することができません。学籍番号にそれ以外の文字が使われている場合、学校の指示にしたがってください。
(4)専修学校は、「あなたは上級学科に在学していますか。」という設問が表示されます。学校からの指示がない限り(4)は「いいえ」を選択してください。
○3年次編入→3学年
編入学又は転学した人は、前に在学していた学校への入学年月等も入力が必要です。
(例)
2022年４月にA短期大学に入学。2024年３月にA短期大学卒業後、2024年４月にB大学の３年次に編入学
・現在通っている学校へ編入学又は転学する前に在学していた学校へ入学した年月
：2022年４月(A短期大学の入学年月)
・現在通っている学校へ編入学又は転学する前に在学していた学校に在籍していた最終年月
：2024年３月(A短期大学の卒業年月)
・現在通っている学校へ編入学又は転学した年月
：2024年４月(B大学へ編入学した年月)
短期大学又は高等専門学校の認定専攻科に在学している人は、以下の年月を入力する設問が表示されます。
・専攻科に入学する前に通っていた学校(本科)へ入学した年月
・専攻科に入学する前に通っていた学校(本科)に在籍していた最終年月
・専攻科に入学した年月
高等専門学校から編入学、転学又は専攻科に入学した場合、前に在学していた学校の入学年月には高等専門学校の４年次に進級した年月を入力してください。
（4）の設問は全員「いいえ」を選択してください。
（6）の設問は全員「昼」を選択してください。
短期大学及び高等専門学校の人は、以下のとおり設問が変更になります。この設問において、あなたが在籍している専攻科が、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構の認定を受けているかを「認定専攻科の一覧表」で確認し、「はい」又は「いいえ」を選択してください(「いいえ」を選択した場合、給付奨学金の支援対象外です)。
(4) あなたは正規の課程を修了後に専攻科に在学していますか。
○はい ○いいえ
上記で「はい」と答えた人にお聞きします。
あなたが在籍する専攻科は、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構に認められた認定専攻科ですか。
○はい ○いいえ
短期大学の場合は「(4) あなたは専攻科または別科に在学していますか」と表示されます。
高等専門学校の場合は、以下のとおり設問が変更になります。
(6) あなたの入学年月を記入してください。
西暦（半角数字４桁） 年 月入学
(7) 現在通っている学校の４年次へ進級した年月を記入してください。
西暦（半角数字４桁） 年 月

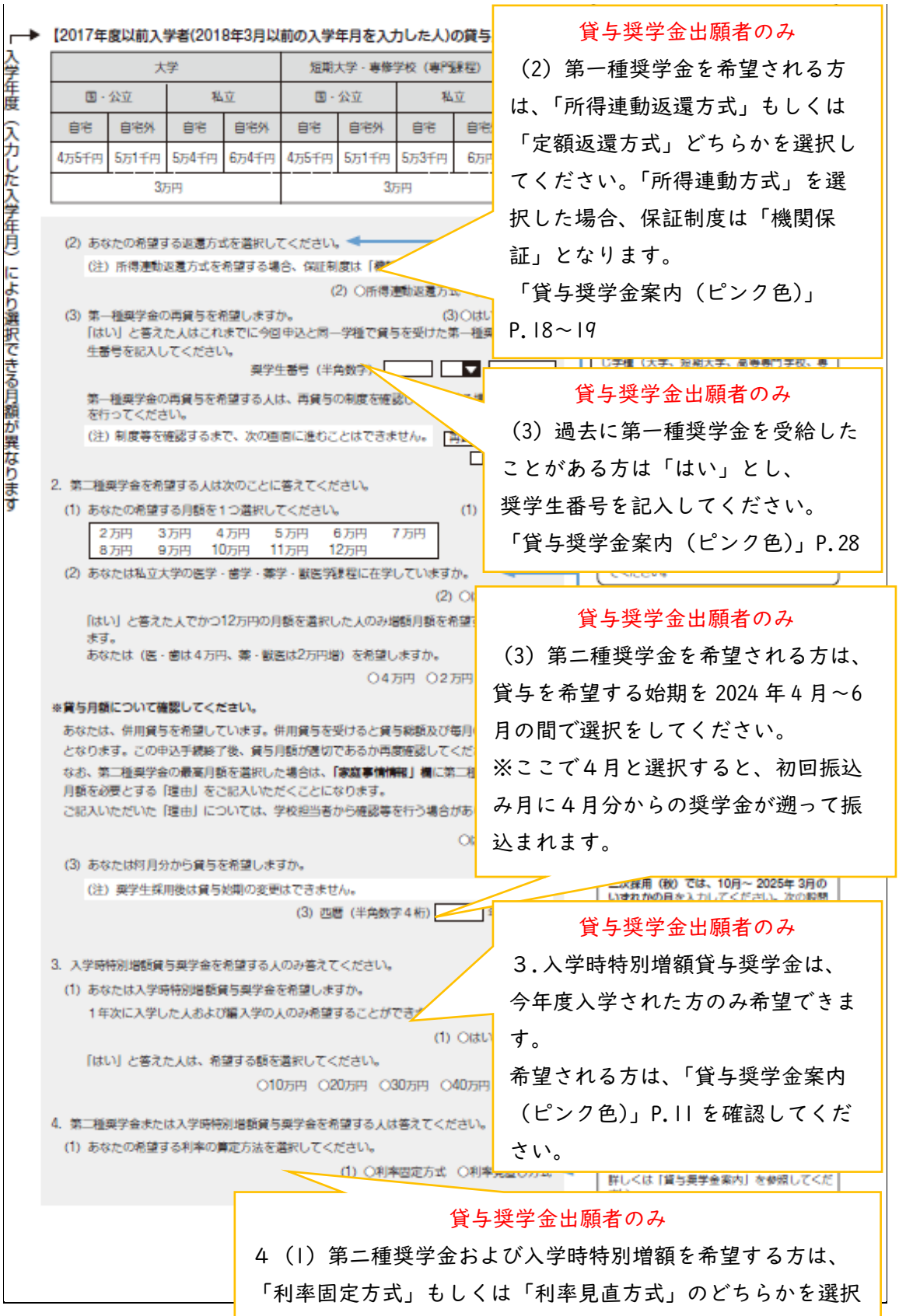
（8）の設問は、＜入学・卒業予定早見表＞を確認し、記入してください。

（9）の設問は、全員「4年0か月」と記入してください。

キャンパスの住所は、
「〒603-8047　京都府京都市北区上賀茂本山436」としてください。
※436は住所2に記載

（11）の設問で、自宅外通学を選択した方は、一人暮らしまたは、寮の住所を記入してください。
マンションや寮の方は部屋番号まで記入してください。


④ー奨学金給付額情報
1．給付奨学金を希望する人は次のことに答えてください。
(1) 給付奨学金が採用となった場合、４月振込分からの支給の停止を希望しますか。
○はい ○いいえ
注意！ 支給を受けたい場合は、「いいえ」を選択してください。
「はい」を選択すると、採用されても振込みされません。
「はい」と答えた人は、停止理由を選択してください。
○ 2024年４月１日時点で休学中であるため（2024年４月２日以降に休学が始まる
は該当しません。申込後、別途手続が必要です）。
○ 他団体の奨学金利用に伴い、機構の給付奨学金との併給が認められないため。
○ その他
こちらの事由に該当する場合のみ、
I-（I）で「はい」を選択してください。
※届出による停止解除により、支給を再開することができます。
(2) あなたは、2024年４月以降、以下の支援を受ける予定がありますか（ハローワークや役所からあなた本人が受けている給付金があれば、次に該当するものがないか、必ず確認してください）。
国費による支援を受けている、又は受ける予定である場合は、ここではなく(2)で該当する内容を選択してください。
※2024年４月以降、以下の国費による支援を受けている期間は、日本学生支援機構の給付奨学金の額は０円となります。
・教育訓練支援給付金【雇用保険法】
・訓練延長給付、技能習得手当（受講手当、通所手当）、寄宿手当【雇用保険法】
・職業訓練受講給付金【職業訓練の実施等による特定求職者の就職の支援に関する法
・高等職業訓練促進給付金（ひとり親家庭の親を対象とする給付金）【母子及び父子並
寡婦福祉法】
・職業転換給付金<訓練手当>【労働施策の総合的な推進並びに労働者の雇用の安定及
業生活の充実等に関する法律】
注意！ 申込者本人（あなた）が受けているかどうかに
申込者である学生自身が記載の支援を受けるかという設問です。間違わないようにしてください。
○ 支援を受けておらず受ける予定もない
○ 支援を受けている
受給予定期間 （西暦）（半角数字４桁） 年 月 ～ 年 月
○ 支援を受ける予定である
受給予定期間 （西暦）（半角数字４桁） 年 月 ～ 年 月
「支援を受けている」「支援を受ける予定である」を選択した人には、給付金の種類が表示されます。
あなたが受けている（受ける予定である）給付金の種類を選んでください。
※申告漏れの場合、給付奨学金の全額返金を求めることがあります。
給付奨学金のみ希望する人は、入力の必要はありません。
⑤ー奨学金貸与額情報
1．第一種奨学金を希望する人は次のことに答えてください。
(1) あなたの希望する月額を1つ選択してください。 (1)
入学年度によって、適用される貸与月額が異なります。
また、専修学校（専門課程）のうち、独立行政法人及び地方独立行政法人が設置する専修学校は「国・公立」の月額が適用されます。
プルダウンリストから希望する月額を選択してください。
入学年度（入力した入学年月）により選択できる月額が異なります
【2018年度以降入学者(2018年4月以降の入学年月を入力した人)の貸与月額】
区分 / 月額の種類
大学 / 国・公立 / 私立 / 短期大学・専修学校（専門課程） / 国・公立 / 私立
自宅 / 自宅外 / 自宅 / 自宅外 / 自宅 / 自宅外 / 自宅
最高月額
4万5千円 5万1千円 5万4千円 6万4千円 4万5千円 5万1千円 5万3千円
最高月額以外の月額
5万円 4万円 4万円 4万円 3万円 3万円 3万円 3万円 3万円 2万円 2万円 2万円 2万円 2万円
貸与奨学金出願者のみ
第一種奨学金を希望される方は、希望月額を記入してください。
また、（I）で最高月額を選択された方は、最高月額が貸与できなかった場合の希望金額も記入してください。
最高月額を利用するためには、併用貸
それぞれの月額を利用できる収入・所
→ 最高月額を選択した人は、以下の質問に答えてください。
貸与月額○○円は一定の条件を満たした場合のみ貸与を受けられる月額です。
条件を満たさなかった場合に希望する月額を選択してください。
春の定期採用で採用されると、第一種奨学金の貸与始期は2024年４月となります（入学年度によりません）。
自宅外通学の場合でも、自宅月額を選択することができます（入学年度によりません）。
最高月額が認められなかった場合に希望する月額を上表の最高月額以外の月額から選択してください。



貸与奨学金出願者のみ

（2）第一種奨学金を希望される方は、「所得連動返還方式」もしくは「定額返還方式」どちらかを選択してください。「所得連動方式」を選択した場合、保証制度は「機関保証」となります。

「貸与奨学金案内（ピンク色）」P.18～19

貸与奨学金出願者のみ

（3）過去に第一種奨学金を受給したことがある方は「はい」とし、奨学生番号を記入してください。

「貸与奨学金案内（ピンク色）」P.28

貸与奨学金出願者のみ

（3）第二種奨学金を希望される方は、貸与を希望する始期を 2024 年 4 月～6 月の間で選択をしてください。

※ここで４月と選択すると、初回振込み月に４月分からの奨学金が遡って振込まれます。

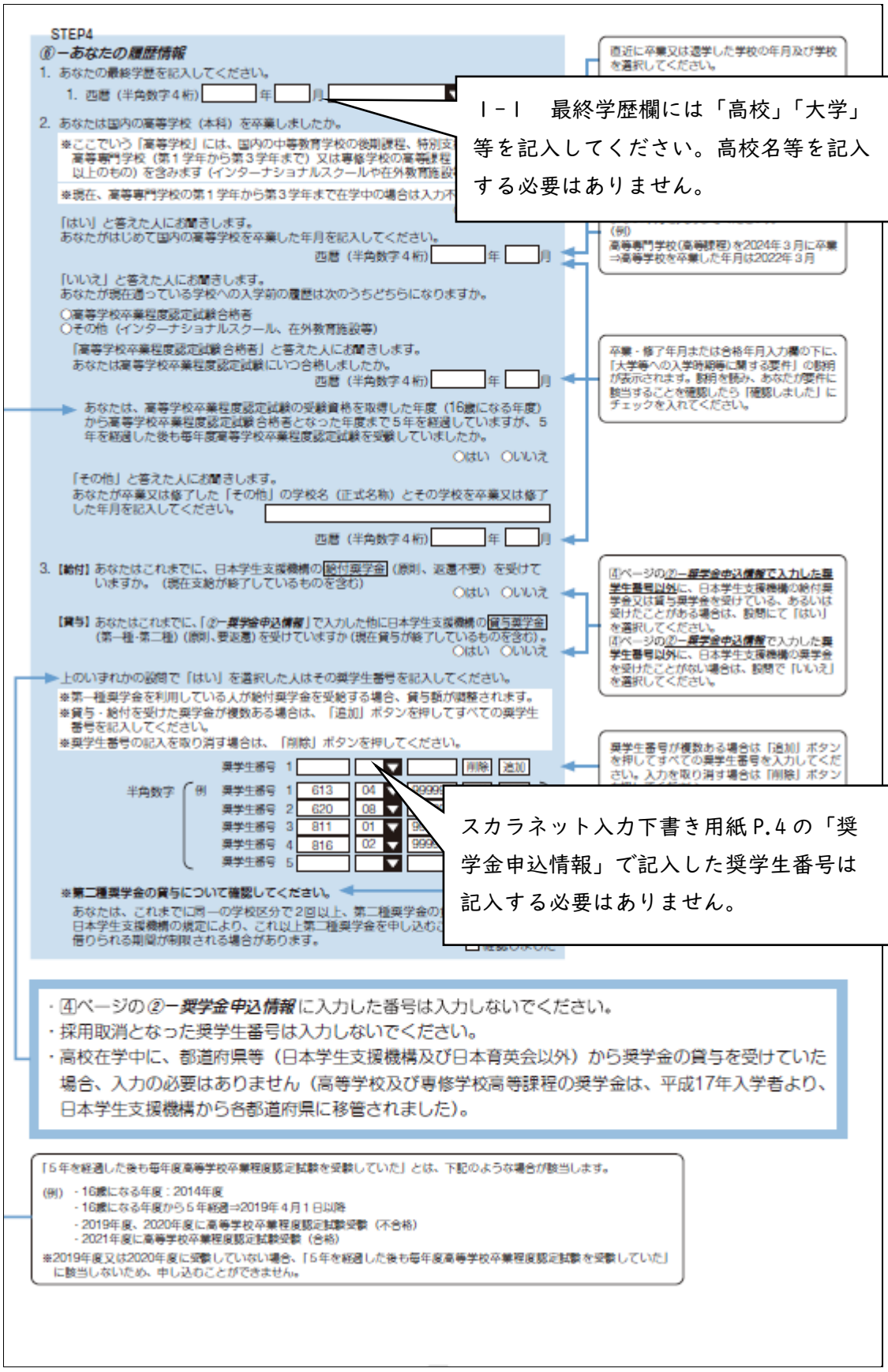
貸与奨学金出願者のみ

３.入学時特別増額貸与奨学金は、今年度入学された方のみ希望できます。

希望される方は、「貸与奨学金案内（ピンク色）」P.11 を確認してください。

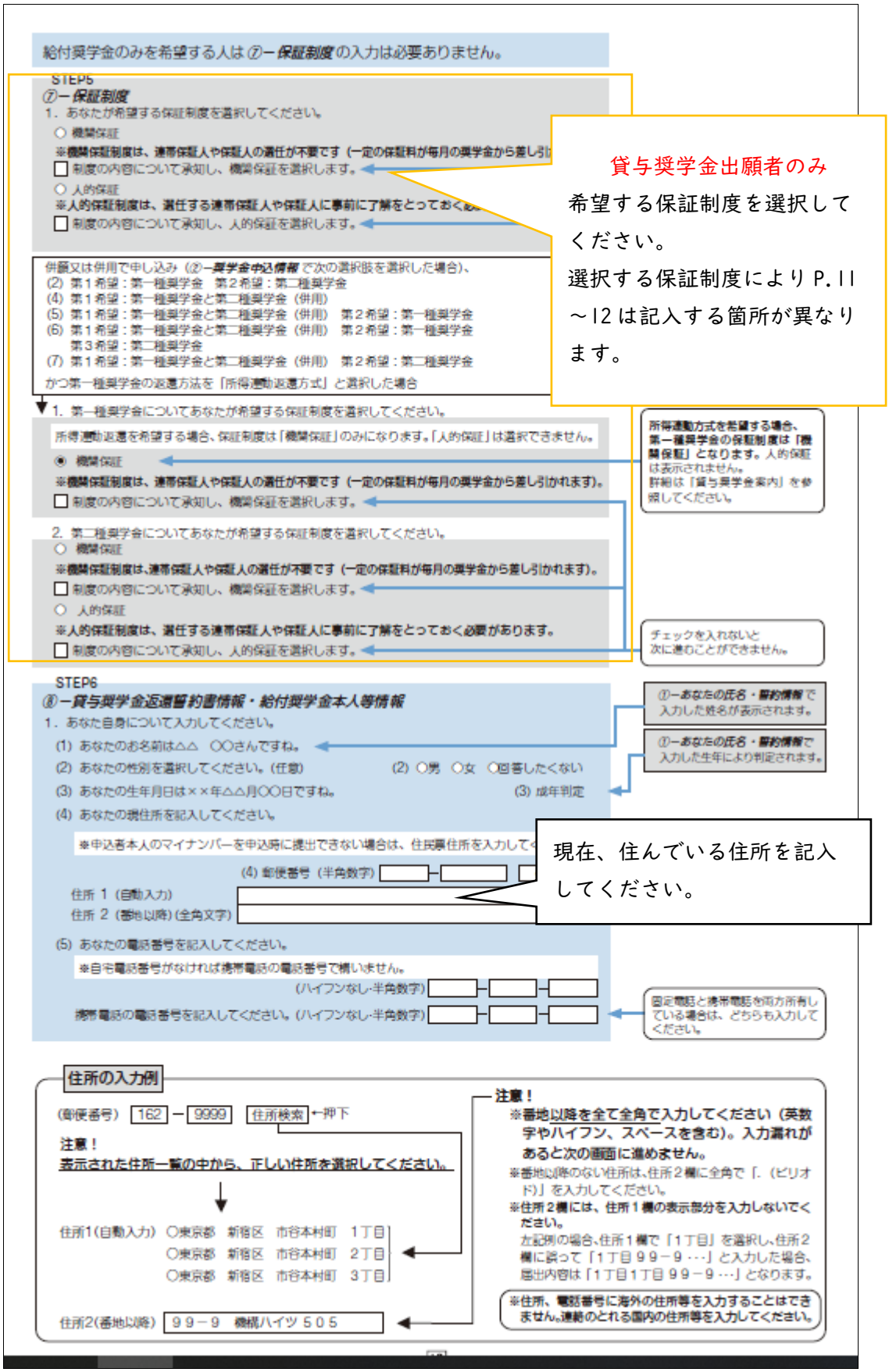
貸与奨学金出願者のみ

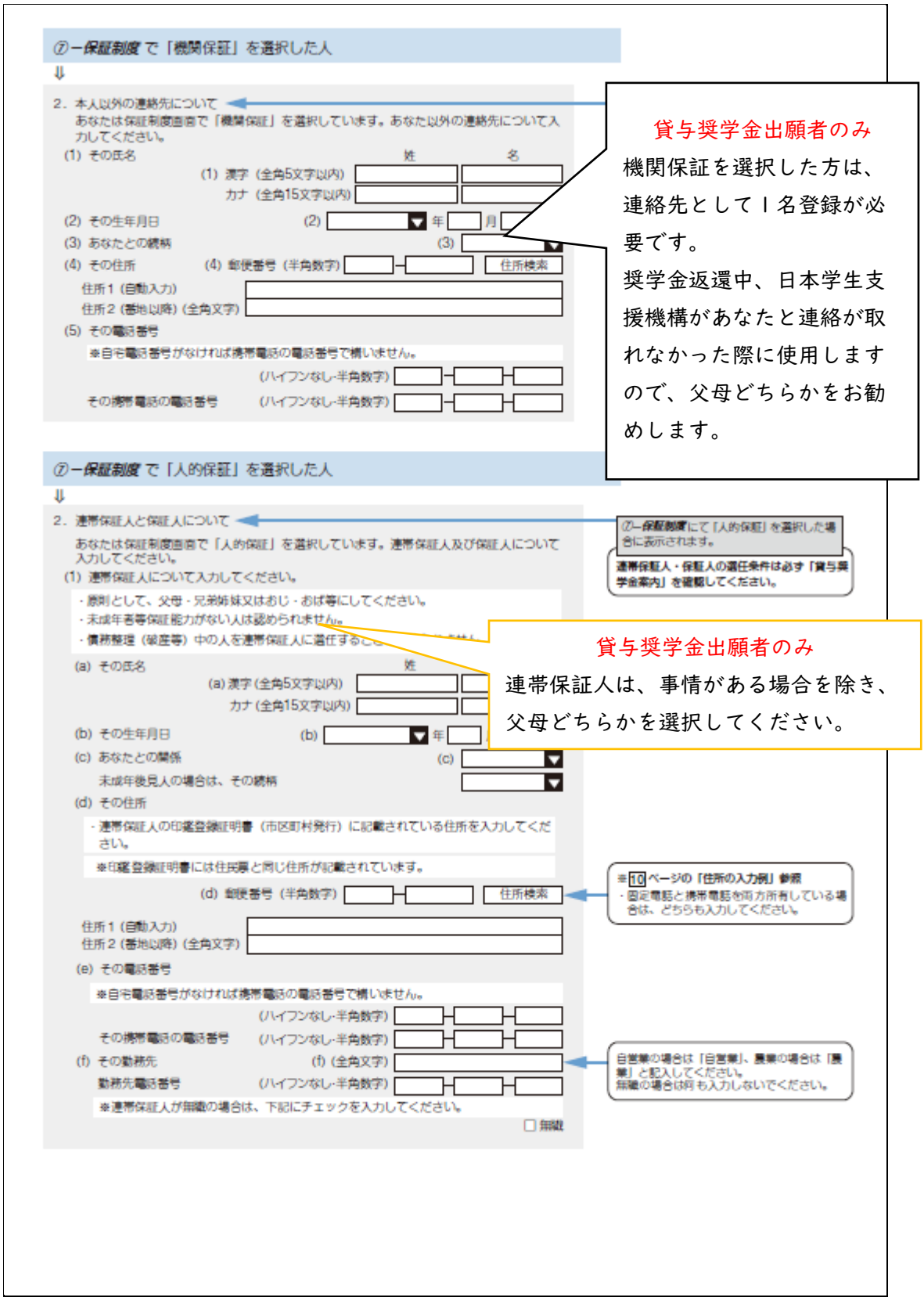
４（1）第二種奨学金および入学時特別増額を希望する方は、「利率固定方式」もしくは「利率見直方式」のどちらかを選択してください。「貸与奨学金案内（ピンク色）」P.16～17

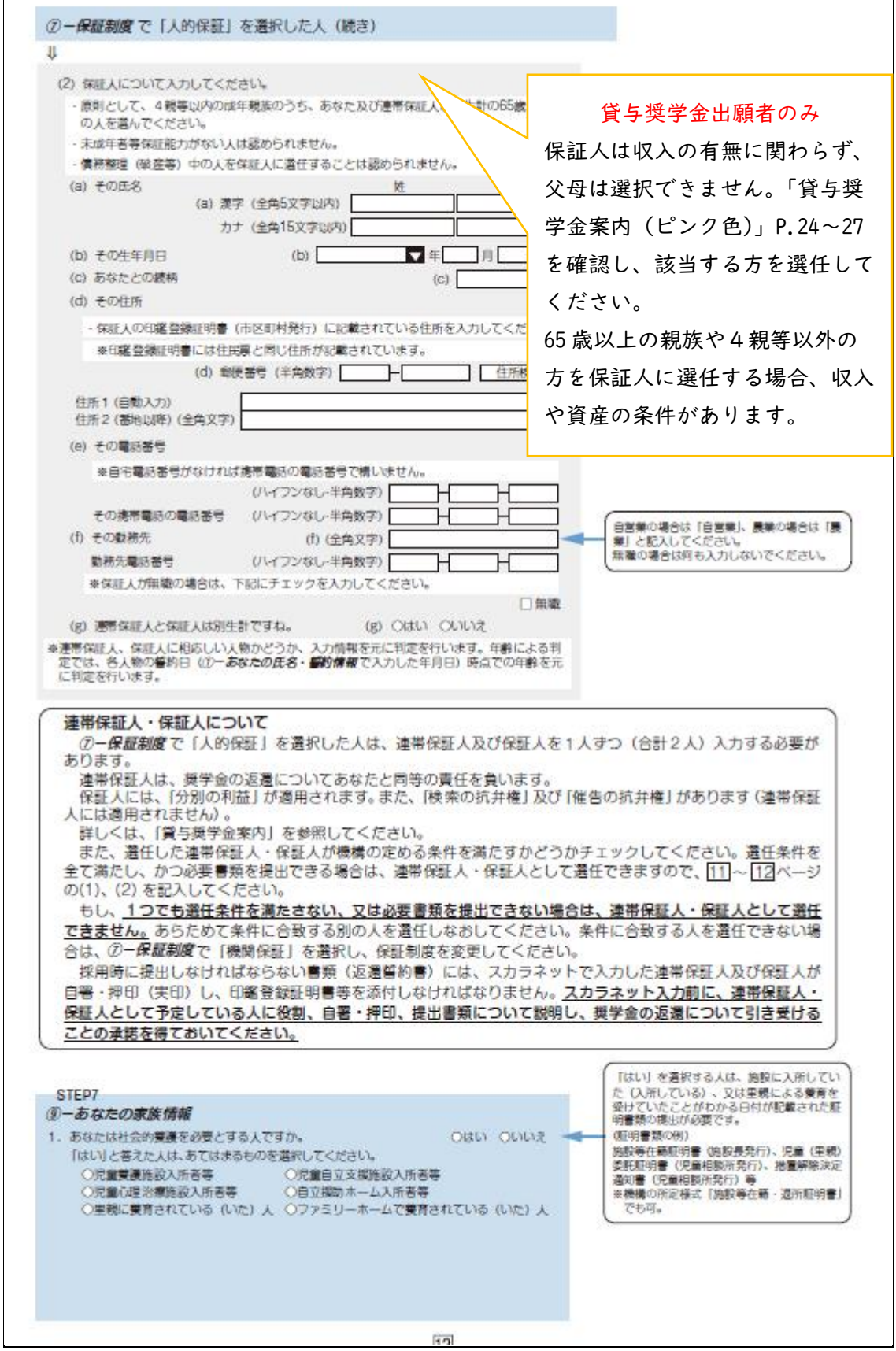


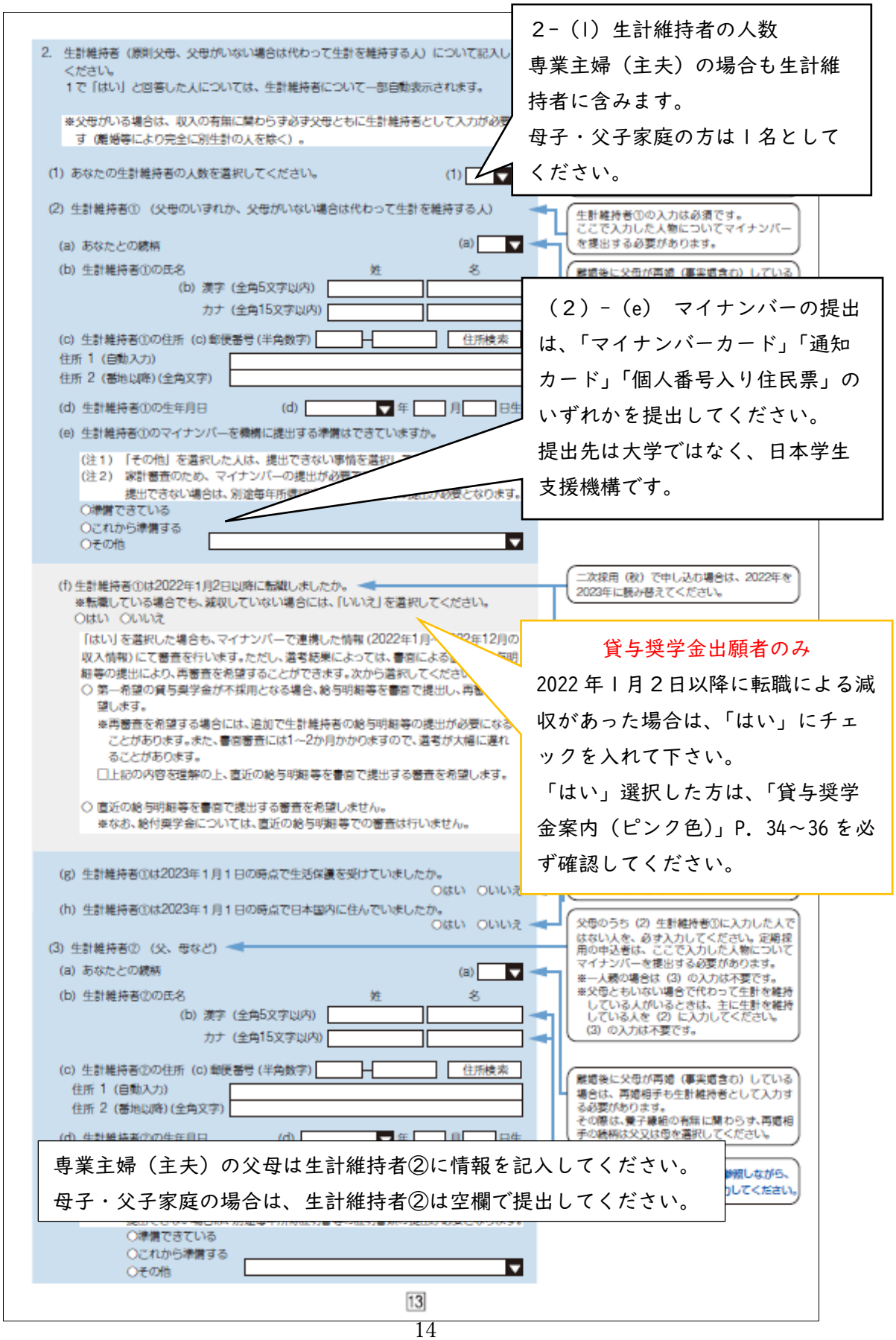
Ⅰ－Ⅰ　最終学歴欄には「高校」「大学」等を記入してください。高校名等を記入する必要はありません。

スカラネット入力下書き用紙P.4の「奨学金申込情報」で記入した奨学生番号は記入する必要はありません。

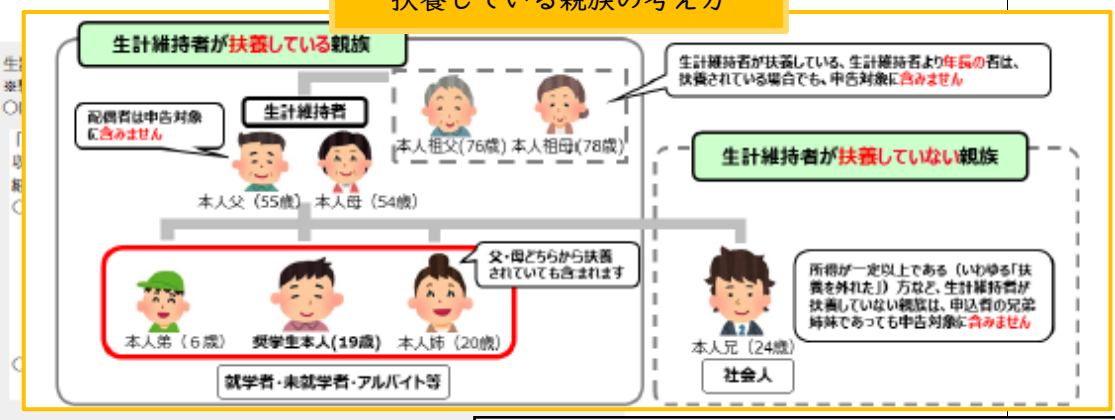

給付奨学金のみを希望する人は⑦ー保証制度の入力は必要ありません。
STEP5
⑦ー保証制度
1．あなたが希望する保証制度を選択してください。
○ 機関保証
※機関保証制度は、連帯保証人や保証人の選任が不要です（一定の保証料が毎月の奨学金から差し引
☐ 制度の内容について承知し、機関保証を選択します。
○ 人的保証
※人的保証制度は、選任する連帯保証人や保証人に事前に了解をとっておく必
☐ 制度の内容について承知し、人的保証を選択します。
貸与奨学金出願者のみ
希望する保証制度を選択してください。
選択する保証制度によりP.11～12は記入する箇所が異なります。
併願又は併用で申し込み（②ー奨学金申込情報で次の選択肢を選択した場合）、
(2) 第1希望：第一種奨学金　第2希望：第二種奨学金
(4) 第1希望：第一種奨学金と第二種奨学金（併用）
(5) 第1希望：第一種奨学金と第二種奨学金（併用）　第2希望：第一種奨学金
(6) 第1希望：第一種奨学金と第二種奨学金（併用）　第2希望：第一種奨学金
第3希望：第二種奨学金
(7) 第1希望：第一種奨学金と第二種奨学金（併用）　第2希望：第二種奨学金
かつ第一種奨学金の返還方法を「所得連動返還方式」と選択した場合
1．第一種奨学金についてあなたが希望する保証制度を選択してください。
所得連動返還を希望する場合、保証制度は「機関保証」のみになります。「人的保証」は選択できません。
◉ 機関保証
※機関保証制度は、連帯保証人や保証人の選任が不要です（一定の保証料が毎月の奨学金から差し引かれます）。
☐ 制度の内容について承知し、機関保証を選択します。
所得連動方式を希望する場合、第一種奨学金の保証制度は「機関保証」となります。人的保証は表示されません。
詳細は「貸与奨学金案内」を参照してください。
2．第二種奨学金についてあなたが希望する保証制度を選択してください。
○ 機関保証
※機関保証制度は、連帯保証人や保証人の選任が不要です（一定の保証料が毎月の奨学金から差し引かれます）。
☐ 制度の内容について承知し、機関保証を選択します。
○ 人的保証
※人的保証制度は、選任する連帯保証人や保証人に事前に了解をとっておく必要があります。
☐ 制度の内容について承知し、人的保証を選択します。
チェックを入れないと次に進むことができません。
STEP6
⑧ー貸与奨学金返還誓約書情報・給付奨学金本人等情報
1．あなた自身について入力してください。
(1) あなたのお名前は△△　○○さんですね。
(2) あなたの性別を選択してください。（任意）　(2) ○男　○女　○回答したくない
(3) あなたの生年月日は××年△△月○○日ですね。　(3) 成年判定
(4) あなたの現住所を記入してください。
※申込者本人のマイナンバーを申込時に提出できない場合は、住民票住所を入力して
(4) 郵便番号（半角数字）
住所1（自動入力）
住所2（番地以降）（全角文字）
⑦ー保証制度で入力した姓名が表示されます。
⑦ー保証制度で入力した生年により判定されます。
現在、住んでいる住所を記入してください。
(5) あなたの電話番号を記入してください。
※自宅電話番号がなければ携帯電話の電話番号で構いません。
（ハイフンなし・半角数字）
携帯電話の電話番号を記入してください。（ハイフンなし・半角数字）
固定電話と携帯電話を両方所有している場合は、どちらも入力してください。
住所の入力例
（郵便番号）162 － 9999 住所検索 ←押下
注意！
表示された住所一覧の中から、正しい住所を選択してください。
住所1（自動入力）○東京都　新宿区　市谷本村町　1丁目
○東京都　新宿区　市谷本村町　2丁目
○東京都　新宿区　市谷本村町　3丁目
住所2（番地以降）９９－９　機構ハイツ５０５
注意！
※番地以降を全て全角で入力してください（英数字やハイフン、スペースを含む）。入力漏れがあると次の画面に進めません。
※番地以降のない住所は、住所2欄に全角で「．（ピリオド）」を入力してください。
※住所2欄には、住所1欄の表示部分を入力しないでください。
左記例の場合、住所1欄で「1丁目」を選択し、住所2欄に誤って「1丁目９９－９…」と入力した場合、届出内容は「1丁目1丁目９９－９…」となります。
※住所、電話番号に海外の住所等を入力することはできません。連絡のとれる国内の住所等を入力してください。


⑦ー保証制度 で「機関保証」を選択した人
2．本人以外の連絡先について
あなたは保証制度画面で「機関保証」を選択しています。あなた以外の連絡先について入力してください。
(1) その氏名
姓
名
(1) 漢字（全角5文字以内）
カナ（全角15文字以内）
(2) その生年月日
(2)
年
月
(3) あなたとの続柄
(3)
(4) その住所
(4) 郵便番号（半角数字）
住所検索
住所1（自動入力）
住所2（番地以降）（全角文字）
(5) その電話番号
※自宅電話番号がなければ携帯電話の電話番号で構いません。
(ハイフンなし-半角数字)
その携帯電話の電話番号
(ハイフンなし-半角数字)
貸与奨学金出願者のみ
機関保証を選択した方は、連絡先として１名登録が必要です。
奨学金返還中、日本学生支援機構があなたと連絡が取れなかった際に使用しますので、父母どちらかをお勧めします。
⑦ー保証制度 で「人的保証」を選択した人
2．連帯保証人と保証人について
あなたは保証制度画面で「人的保証」を選択しています。連帯保証人及び保証人について入力してください。
(1) 連帯保証人について入力してください。
・原則として、父母・兄弟姉妹又はおじ・おば等にしてください。
・未成年者等保証能力がない人は認められません。
・債務整理（破産等）中の人を連帯保証人に選任すること
(a) その氏名
姓
(a) 漢字（全角5文字以内）
カナ（全角15文字以内）
(b) その生年月日
(b)
年
(c) あなたとの関係
(c)
未成年後見人の場合は、その続柄
(d) その住所
・連帯保証人の印鑑登録証明書（市区町村発行）に記載されている住所を入力してください。
※印鑑登録証明書には住民票と同じ住所が記載されています。
(d) 郵便番号（半角数字）
住所検索
住所1（自動入力）
住所2（番地以降）（全角文字）
(e) その電話番号
※自宅電話番号がなければ携帯電話の電話番号で構いません。
(ハイフンなし-半角数字)
その携帯電話の電話番号
(ハイフンなし-半角数字)
(f) その勤務先
(f) (全角文字)
勤務先電話番号
(ハイフンなし-半角数字)
※連帯保証人が無職の場合は、下記にチェックを入力してください。
無職
⑦ー保証制度にて「人的保証」を選択した場合に表示されます。
連帯保証人・保証人の選任条件は必ず「貸与奨学金案内」を確認してください。
貸与奨学金出願者のみ
連帯保証人は、事情がある場合を除き、父母どちらかを選択してください。
※10 ページの「住所の入力例」参照
・固定電話と携帯電話を両方所有している場合は、どちらも入力してください。
自営業の場合は「自営業」、農業の場合は「農業」と記入してください。
無職の場合は何も入力しないでください。


⑦ー保証制度 で「人的保証」を選択した人（続き）
(2) 保証人について入力してください。
(a) その氏名
(b) その生年月日
(c) あなたとの続柄
(d) その住所
(e) その電話番号
(f) その勤務先
(g) 連帯保証人と保証人は別生計ですね。 ○はい ○いいえ
貸与奨学金出願者のみ
保証人は収入の有無に関わらず、父母は選択できません。「貸与奨学金案内（ピンク色）」P.24～27を確認し、該当する方を選任してください。
65歳以上の親族や４親等以外の方を保証人に選任する場合、収入や資産の条件があります。
自営業の場合は「自営業」、農業の場合は「農業」と記入してください。
無職の場合は何も入力しないでください。
連帯保証人・保証人について
⑦ー保証制度で「人的保証」を選択した人は、連帯保証人及び保証人を１人ずつ（合計２人）入力する必要があります。
連帯保証人は、奨学金の返還についてあなたと同等の責任を負います。
保証人には、「分別の利益」が適用されます。また、「検索の抗弁権」及び「催告の抗弁権」があります（連帯保証人には適用されません）。
詳しくは、「貸与奨学金案内」を参照してください。
また、選任した連帯保証人・保証人が機構の定める条件を満たすかどうかチェックしてください。選任条件を全て満たし、かつ必要書類を提出できる場合は、連帯保証人・保証人として選任できますので、11～12ページの(1)、(2)を記入してください。
もし、１つでも選任条件を満たさない、又は必要書類を提出できない場合は、連帯保証人・保証人として選任できません。あらためて条件に合致する別の人を選任しなおしてください。条件に合致する人を選任できない場合は、⑦ー保証制度で「機関保証」を選択し、保証制度を変更してください。
採用時に提出しなければならない書類（返還誓約書）には、スカラネットで入力した連帯保証人及び保証人が自署・押印（実印）し、印鑑登録証明書等を添付しなければなりません。スカラネット入力前に、連帯保証人・保証人として予定している人に役割、自署・押印、提出書類について説明し、奨学金の返還について引き受けることの承諾を得ておいてください。
STEP7
⑨ーあなたの家族情報
1．あなたは社会的養護を必要とする人ですか。 ○はい ○いいえ
「はい」と答えた人は、あてはまるものを選択してください。
○児童養護施設入所者等 ○児童自立支援施設入所者等
○児童心理治療施設入所者等 ○自立援助ホーム入所者等
○単親に養育されている（いた）人 ○ファミリーホームで養育されている（いた）人
「はい」を選択する人は、施設に入所していた（入所している）、又は単親による養育を受けていたことがわかる日付が記載された証明書類の提出が必要です。
（証明書類の例）
施設等在籍証明書（施設長発行）、児童（単親）委託証明書（児童相談所発行）、措置解除決定通知書（児童相談所発行）等
※機構の所定様式「施設等在籍・退所証明書」でも可。


2－（1）生計維持者の人数
専業主婦（主夫）の場合も生計維持者に含みます。
母子・父子家庭の方は１名としてください。
（２）－（e） マイナンバーの提出は、「マイナンバーカード」「通知カード」「個人番号入り住民票」のいずれかを提出してください。
提出先は大学ではなく、日本学生支援機構です。
貸与奨学金出願者のみ
2022 年１月２日以降に転職による減収があった場合は、「はい」にチェックを入れて下さい。
「はい」選択した方は、「貸与奨学金案内（ピンク色）」P．34～36 を必ず確認してください。
専業主婦（主夫）の父母は生計維持者②に情報を記入してください。
母子・父子家庭の場合は、生計維持者②は空欄で提出してください。

扶養している親族の考え方



生計維持者の扶養している親族数

図を確認し、それぞれの時点で生計維持者が税法上扶養しており、かつ生計維持者より年下である方の人数を記入してください。

税法上扶養している人数は源泉徴収票や課税証明書で確認してください。

◆税法上扶養している場合でも次の方は含まれません。

・生計維持者の配偶者

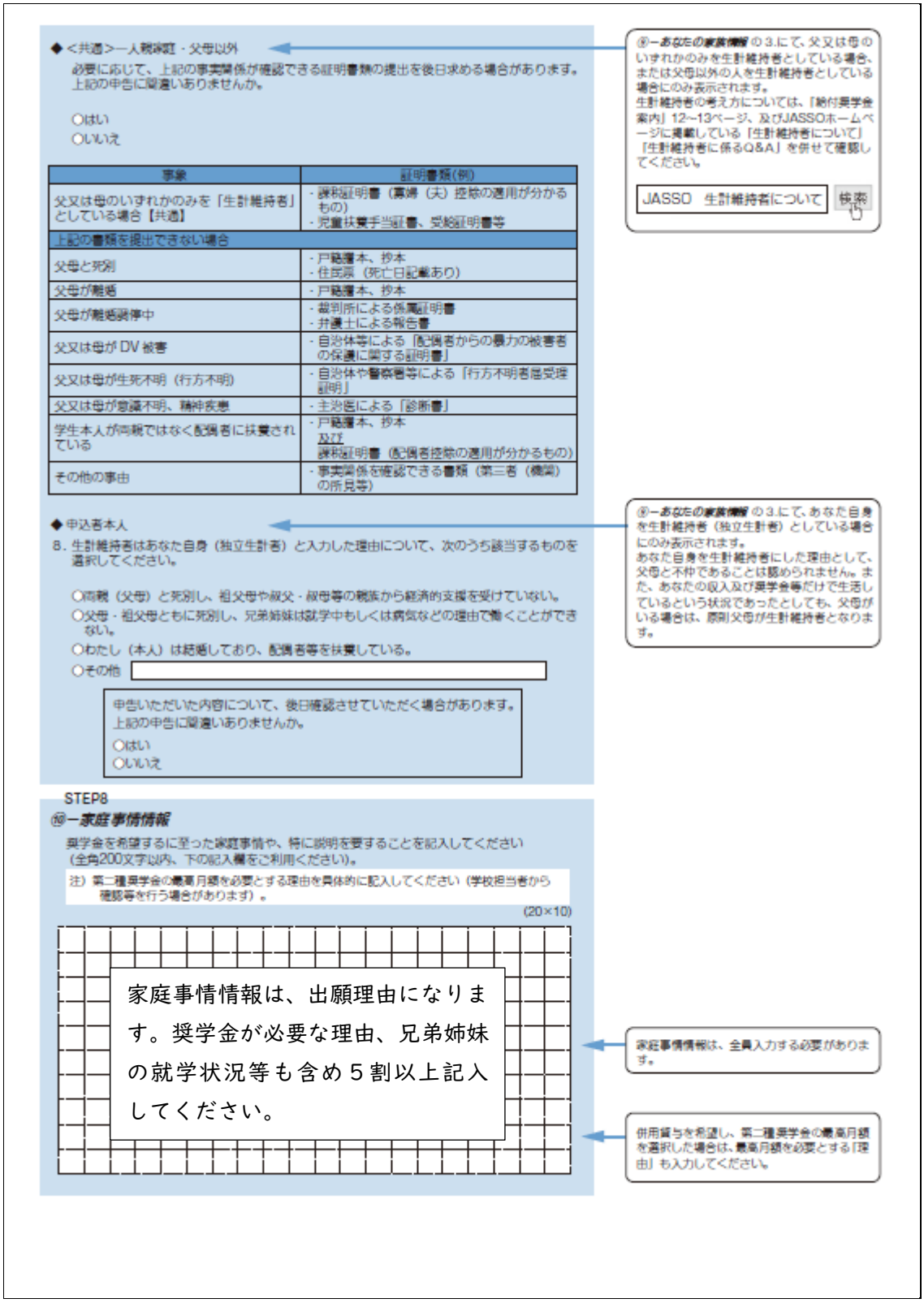
・生計維持者の父母、兄姉（生計維持者より年上のため）

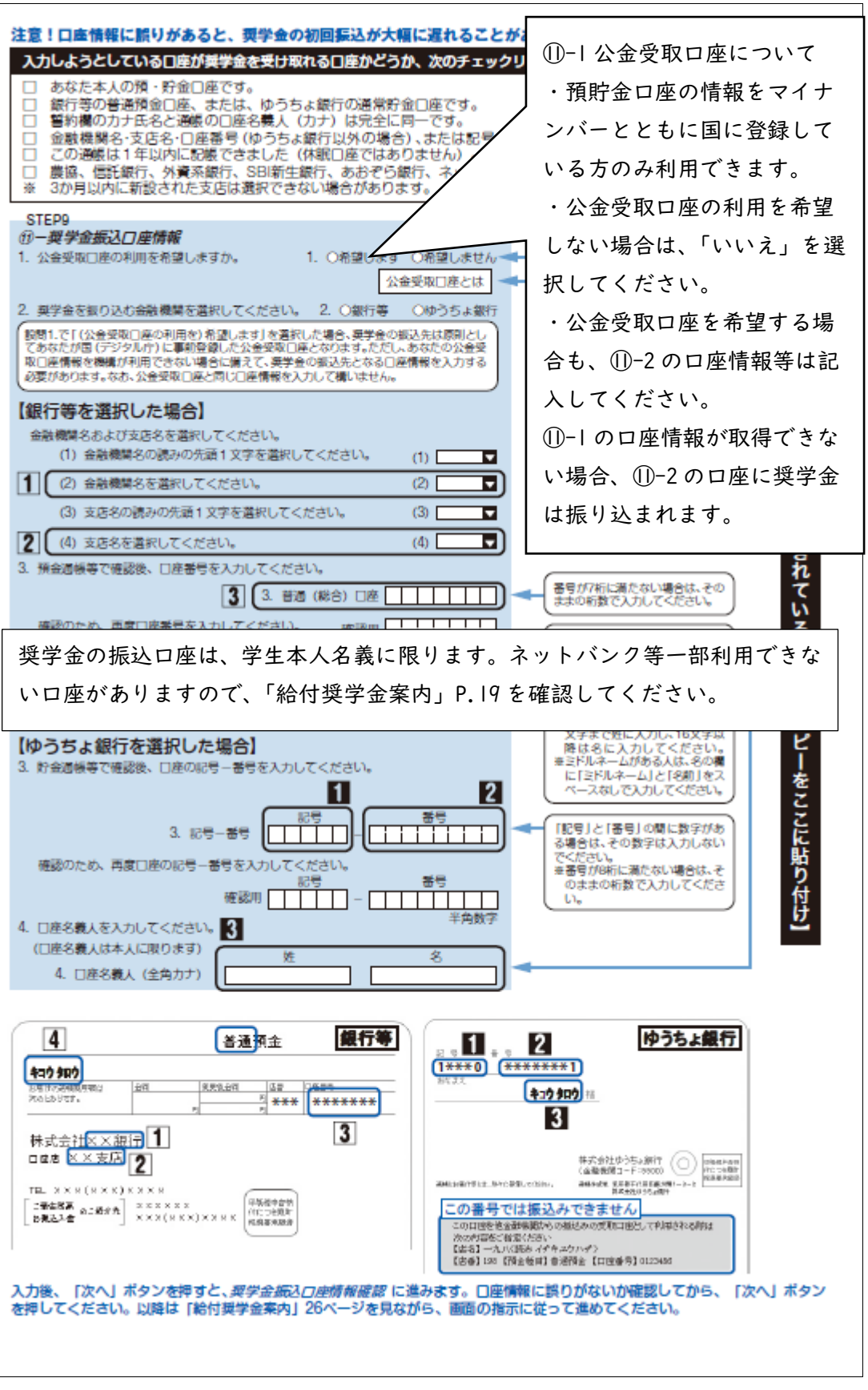
申込時点での現金、預貯金等の資産を記入してください。

預貯金、現金等一切ない場合は、０円としてください。

対象となる資産は「給付奨学金案内」P.11 を確認してください。

「スカラネット入力下書き用紙」P.13 で生計維持者数を１名とした方は、該当する事情を選択してください。


◆＜共通＞一人親確認・父母以外
必要に応じて、上記の事実関係が確認できる証明書類の提出を後日求める場合があります。
上記の申告に間違いありませんか。
○はい
○いいえ
事象
証明書類(例)
父又は母のいずれかのみを「生計維持者」としている場合【共通】
・課税証明書（寡婦（夫）控除の適用が分かるもの）
・児童扶養手当証書、受給証明書等
上記の書類を提出できない場合
父母と死別
・戸籍謄本、抄本
・住民票（死亡日記載あり）
父母が離婚
・戸籍謄本、抄本
父母が離婚調停中
・裁判所による係属証明書
・弁護士による報告書
父又は母がDV被害
・自治体等による「配偶者からの暴力の被害者の保護に関する証明書」
父又は母が生死不明（行方不明）
・自治体や警察署等による「行方不明者届受理証明」
父又は母が意識不明、精神疾患
・主治医による「診断書」
学生本人が両親ではなく配偶者に扶養されている
・戸籍謄本、抄本
及び
課税証明書（配偶者控除の適用が分かるもの）
その他の事由
・事実関係を確認できる書類（第三者（機関）の所見等）
⑨ーあなたの家族情報の3.にて、父又は母のいずれかのみを生計維持者としている場合、または父母以外の人を生計維持者としている場合にのみ表示されます。
生計維持者の考え方については、「給付奨学金案内」12~13ページ、及びJASSOホームページに掲載している「生計維持者について」「生計維持者に係るQ&A」を併せて確認してください。
JASSO　生計維持者について
検索
◆申込者本人
8. 生計維持者はあなた自身（独立生計者）と入力した理由について、次のうち該当するものを選択してください。
○両親（父母）と死別し、祖父母や叔父・叔母等の親族から経済的支援を受けていない。
○父母・祖父母ともに死別し、兄弟姉妹は就学中もしくは病気などの理由で働くことができない。
○わたし（本人）は結婚しており、配偶者等を扶養している。
○その他
申告いただいた内容について、後日確認させていただく場合があります。
上記の申告に間違いありませんか。
○はい
○いいえ
⑨ーあなたの家族情報の3.にて、あなた自身を生計維持者（独立生計者）としている場合にのみ表示されます。
あなた自身を生計維持者にした理由として、父母と不仲であることは認められません。また、あなたの収入及び奨学金等だけで生活しているという状況であったとしても、父母がいる場合は、原則父母が生計維持者となります。
STEP8
⑩ーFamily Circumstances
奨学金を希望するに至った家庭事情や、特に説明を要することを記入してください（全角200文字以内、下の記入欄をご利用ください）。
注）第二種奨学金の最高月額を必要とする理由を具体的に記入してください（学校担当者から確認等を行う場合があります）。
(20×10)
家庭事情情報は、出願理由になります。奨学金が必要な理由、兄弟姉妹の就学状況等も含め５割以上記入してください。
家庭事情情報は、全員入力する必要があります。
併用貸与を希望し、第二種奨学金の最高月額を選択した場合は、最高月額を必要とする「理由」も入力してください。


⑪-1 公金受取口座について
・預貯金口座の情報をマイナンバーとともに国に登録している方のみ利用できます。
・公金受取口座の利用を希望しない場合は、「いいえ」を選択してください。
・公金受取口座を希望する場合も、⑪-2 の口座情報等は記入してください。
⑪-1 の口座情報が取得できない場合、⑪-2 の口座に奨学金は振り込まれます。
奨学金の振込口座は、学生本人名義に限ります。ネットバンク等一部利用できない口座がありますので、「給付奨学金案内」P.19 を確認してください。
入力しようとしている口座が奨学金を受け取れる口座かどうか、次のチェックリ
STEP9
⑪-奨学金振込口座情報
公金受取口座とは
【銀行等を選択した場合】
【ゆうちょ銀行を選択した場合】
銀行等
ゆうちょ銀行
この番号では振込みできません
入力後、「次へ」ボタンを押すと、奨学金振込口座情報確認 に進みます。口座情報に誤りがないか確認してから、「次へ」ボタンを押してください。以降は「給付奨学金案内」26ページを見ながら、画面の指示に従って進めてください。